



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008年度

第17巻17号

2007年11月01日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●

心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■

委任 ロータリー財団委員会

例会場：ブケ東海
(12:30点鐘)

例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152

事務担当者●川口恵美

Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第781例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

皆様こんにちは、最近出版された書物で「求めない」という詩集が小さな反響を呼んでいるということテレビで知り読んで見ました。

五欲や煩悩を捨てるということは、誰も出来ないことであって、求めることは大切なことである。しかし求めすぎると余計なものまで求めてしまう。実は「求めない」ということは、求めないで済むことは求めない、ただ、それだけのことでありと前置きして沢山の詩を書いています。人間とは、何かを求めずにはいられない存在であって、求め過ぎることを抑える時、自分の中のものが出てくる。こういうことも生じてしまいます。とくに現在社会は私達の好む好まざるにかかわらず、求めすぎる生活を強いられて、求めるように促されているという事で、そこをポイントにこの詩が生まれたと記しております。

求めすぎて我を失い、人としての倫理を見失い、ここ数年絶えたことない食品偽装事件は、あまりにも消費者を翻弄した行為であって腹立たしさを感じておりましたが、最近益々、発覚が増え世の中の信頼を失っております。

或いは、このようなことは氷山の一角で大半の食品は、何らかの関わりがある様に思うこのごろです。バブルが崩壊して生き残る為に改革が要求され、いかにして利益を追求していくのか、その限界に達したとき又は寸前に理性を失い、手っ取り早い偽装を企ててしまう。こういうことも現実にあるようで御座います。

数十年前に端を発した薬剤問題は、けっして遠い過去の話ではなく今、また大きな社会問題となっております。たった一人の求めすぎた権力で間違った判定を下したとすると、その世界に関わる無責任極まりない連中に憤りを感じざるわけ御座います。

世の中は、これまで経済的価値だけを追い求めすぎて、公害や薬害と取り返しの出来ない社会も御座います。高級官僚は職権乱用で癒着に明け暮れ贅沢ざんまい、肝心の政治は、つかさどる政治をそっちのけにして派閥の為の権力争いと党派の主導権争いに、いささかうんざりする今日この頃で御座います。

11月のプログラム

783回	18:30	会員卓話 プログラム委員会
11月15日(木)	夜間例会	

784回	12:30	会員卓話 プログラム委員会
11月22日(木)		

785回	12:30	クラブフォーラム
11月29日(木)	CLP検討委員会	

12月のプログラム

786回	12:30	会員卓話 年次総会
12月06日(木)		

787回	12:30	クラブ協議会 下期活動計画
12月13日(木)	理事会	

788回18:30	18:30	クリスマス家族例会
12月22日(土)	親睦委員会 曜日変更・夜間例会	

裁量休会		
12月27日(木)		

会 長	渡辺 亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	佐野 稔

出席委員会報告

●ビジター

1. 芹沢正明様：御殿場RC

★出席報告（会員総数26名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
781回	24名	20名	-	83.33%
779回	24名	15名	4名	79.17%

●欠席者(4名)

本村文一、名古屋良輔、西山幸三郎、大村保二

●他クラブへの出席者

後藤 昭、久松 但、栗原侑男、宮島賢次、
本村文一、名古屋良輔、大久保豊和、大村保二、
芹澤和子、杉山 了、鈴木博行、鈴木泰次、
土佐通孝、植松 正、渡辺亀一

(10/28 千本浜清掃)

久松 但、宮島賢次、杉山 了、鈴木泰次、
植松 正、渡辺亀一

(10/30 沼津北RC)

●スマイル報告

1. 植松 正：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 久松 但：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 栗原侑男：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
4. 吉川直人：千本浜遊歩道清掃、欠席、申し訳御座いませんでした。
5. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。
6. 井上武雄：すみません。所用につき、早退させていただきます。
7. 鈴木博行：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 報告・連絡事項

- ①10月28日（日）は千本浜遊歩道の清掃ならびにバーベキュー大会、ご苦労様でした。
- ②本日は例会後理事会があります。理事ならびにプログラム委員長はよろしくお願いします。

③次回の例会は、11月4日（日）の地区大会です。2日、3日、4日のお手伝いよろしく、お願いします。

集合時間 2日（金）18:00 場所 沼津文化センター

3日（土）11:00 同 上

4日（日） 7:50 同 上

卓 話

財団の発案者 森 茂美君



すべては、アーチ・クランプの発案であった。1917年にRI会長として

彼はアトランタ大会に集まった代表委員を前に、さまざまな社会奉仕を今まで通り続けていこうと思うなら、世界で善を成すための寄付金を受け取することは極めて適切なことだと思われる」と語った。この言葉はここにいた人々にとって、心を揺るがす行動への呼びかけでも、動機を与えられた瞬間と言えるものでもなかった。しかし、何百万人もの生活を向上する援助の地崩れを開始する最初の小石ではあった。そしてロータリーでそれまで何度となく起ってきたように、これは一人の男の考えから始まったことであった。

ロータリー財団がこれほど効果的なのは、資金と人を組み合わせるからである。アーチ・クランプはこのように述べている。

「金だけでは大したことはできない。個人の奉仕は、金がなければ無力である。この2つが組み合わせられれば、文明への天の恵みとなることができる。」

ポール・ハリスは1934年にクランプに出した手紙にこう書いている。「私たちは、あなたがこの運動に何年も注いできた努力以外に、おそらくこれといった努力をすることなく、いつか、突然、自分たちが何か非常に重要なものになっているのに気づくような気がする。」

ロータリー財団への支援が世界的ではなかったときに書かれたこの言葉は、先見的であった。ク

ランプは1951年に亡くなったが、彼が大事にしたロータリー財団はすでに確かな現実になり始めていた。しかし、自分のビジョンについて最も楽観的だった日のアーチ・クランプ自身でさえ、「小さなひらめき」と彼が呼んだアイデアがこれほどの力を持つと想像したであろうか？

合計 446,000円

【アトラクション】

- * 会員提供による物品のオークション
- * サンタクロースによる子供達へのプレゼント
- * 演芸その他

以上、①、②を一括承認

理事会報告

1. 報告事項

①地区大会の参加者について

11月3日（土） 8名

杉山 了、渡辺亀一、植松 正、鈴木泰次、久松 但、芹澤貞治、宮島賢次、吉川直人、

11月4日（日）21名

杉山 了、鈴木博行、渡辺亀一、植松 正、鈴木泰次、久松 但、芹澤貞治、宮島賢次、吉川直人、栗原侑男、後藤 昭、本村文一、名古屋良輔、西島邦彦、大久保豊和、佐野 稔、芹澤和子、鈴木良則、大村保二、森 茂美、井上武雄、川口恵美

2. 協議事項

①12月プログラム クラブ奉仕委員長 鈴木泰次君

プログラム委員長 土佐通孝 君

- ・プログラム委員会の原案どおりとする

②12月のクリスマス例会について

クラブ奉仕委員長 鈴木泰次 君、
社会奉仕委員長 芹澤和子

- ・開催日時等 12月22日（土） 18:30～21:00
ブケ東海

【予算】収入

会費（会員24名）× 7,000円＝168,000円
会費（家族13名）× 3,000円＝ 39,000円
会費（子供 5名）× 1,000円＝ 5,000円
食事代より 25名 × 1,800円＝ 45,000円
親睦委員会より =149,000円
社会奉仕委員会より = 40,000円
合計 446,000円

支出

飲食代 大人 38名× 7,000円＝266,000円
子供 5名 × 2,000円＝ 10,000円
アトラクション = 70,000円
その他 =100,000円

編集後記

今日はロータリー週報の初めての編集日です。午後からの会議、来客は一切お断り、唯一の来客はロータリー週報編集長の宮島さんです。来社が遅れていますので心配しながら始めてみました。案の定途中でストップしてしまい、ウロウロしている処に編集長ご来場です。という訳で今週の週報は共同編集というより、宮島さんに編集していただいたと言うのが正確なところですよ。

さて次週からは一人歩きせねばなりません。大変緊張しております。編集委員の皆さんの暖かいご支援をお借りし残り4回頑張りたいと思っています。

（佐野 稔）



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008年度

第17巻18号

2007年11月04日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●

心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■

沼津市民文化センター 地区大会

例会場：ブケ東海
(12:30点鐘)

例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152

事務担当者●川口恵美

Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第782例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

コホストクラブとして地区大会へ

2月25日に地区研修セミナーが、柿田川RCの例会場を会場として開かれました。まだ肌寒い日曜日でしたが、この会議開催のための参加が、コホストクラブとして最初でありました。こう云う機会に参加することで、次から次へと迫ってくる諸行事に次期会長としてのプレッシャーが始まったわけで御座います。

新年度がスタートしてまもなく、地区大会ホストクラブ沼津北RCの会長・幹事の我がクラブへの来訪を受け、地区大会協力要請を快く受託した次第です。

8月28日に、地区大会総決起集会の出席要請を実行委員会より頂きまして、いよいよと云う感じを持って出席しました。大会まで後2ヶ月余りの中で非常に熱のこもったびりびりとした雰囲気でした。同時に一部の会場その他の諸工程が詳細に入る段階も感じ取れました。しかし、そのあと実行委員会に出席するたびに、感動を覚える程のスピードで、ち密な業務内容と舞台台本を作成されたことに驚愕した次第です。実行委員会の手腕に多くを学ばせて頂きました。

2日間にわたって行われたこの大会も、見事な演出によって多くの皆様に楽しんで頂けたと思い

ます。大会第1日の会長・幹事会では、RI会長代理の素晴らしいスピーチを拝聴しました。記録誌に掲載されると思います。また、会場運営について、RI会長よりお褒めの言葉を頂きましたが、会場条件をものとしめないバス運行の手際よさも見事であったと思います。私たち西クラブの皆様方も全員で持ち場をしっかりと務めて頂きました。コホストクラブとして、その任務は認識して頂けたものと確信しております。会員の皆様に心から御礼と労いを申し上げます。そして、私も貴重な体験をさせて頂きましたことを心より御礼申し上げます。

11月のプログラム

783回	18:30	会員卓話 プログラム委員会
11月15日(木)	夜間例会	
784回	12:30	会員卓話 プログラム委員会
11月22日(木)		
785回	12:30	クラブフォーラム
11月29日(木)	CLP検討委員会	

12月のプログラム

786回	12:30	会員卓話 年次総会
12月06日(木)		
787回	12:30	クラブ協議会 下期活動計画
12月13日(木)	理事会	
788回18:30	18:30	クリスマス家族例会
12月22日(土)	親睦委員会 曜日変更・夜間例会	
	裁量休会	
12月27日(木)		

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	佐野 稔

出席委員会報告

★出席報告（会員総数26名）

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
782回	24名	21名	-	87.50%
780回	24名	19名	1名	83.33%

●欠席者(3名)

宮口雅仁、西山幸三郎、土佐通孝

●他クラブへの出席者

杉山杉山 了、渡辺亀一、植松 正、栗原侑男

(11/2 地区大会準備)

杉山 了、渡辺亀一、植松 正、鈴木泰次、

久松 但、芹澤貞治、宮島賢次、吉川直人

(11/3 地区大会準備)



登録前、受付に待機する沼津西RCのメンバー



関場慶博RI会長代理

幹事報告

1. 報告・連絡事項

①今週は地区大会を例会扱いとさせていただきます。

11月3日、4日と2日間にわたりコ・ホストクラブの一員としてご協力頂きありがとうございました。ちなみに、登録クラブ数は86クラブ（地区内82クラブ）、登録者総数は1441名（地区内登録者数1308名）でした。

②ティンクルの後藤理事長より、先日の卓話の件でお礼状が届いております。

沼津キラメッセで行われた大親睦会で、地区大会最後の挨拶を閉める、渡辺亀一沼津西RC会長



地区大会

沼津北ロータリークラブのホストクラブの下、沼津RC、沼津柿田川RC、等沼津西RCがコホストクラブとして、数十年ぶりに沼津で地区大会が開催されました。

四クラブの結集の成果が現れ、成功裏の内に退会が閉幕致しました。皆さんお疲れ様でした。貴重な経験が出来たと思います。

編集後記

一人歩きの初めての編集 悪戦苦闘しました。折角出来上がったものの保存が不十分で再編集致しました。失敗の経験でだんだん真ともになれよう次週も頑張りたいと思っています。

(佐野 稔)

-----10月分出席一覧-----

後藤 (2, 1)	久松 (2, 2)	井上 (④) +2	栗原 (3, 1) +1	宮島 (④) +2	宮口 (④)	森 茂 (3)
本村 (3, 1)	名古 (④)	西島 (3)	西山 (2)	大久保(④)+1	大村 (④)	坂部 (-)
佐野 (1)	芹澤貞(④)	芹澤和(3, 1)+1	杉山了(④)+4	杉山壽 (-)	鈴木博(2, 2)+1	鈴木泰(3, 1)+1
鈴木良 (3)	土佐 (1, 3)+1	植松 (④) + 3	渡辺 (④)+ 4	吉川(3)		
			例会出席%	77.08%	地区報告%	86.46%

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008年度

第17巻19号

2007年11月15日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●

心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■

外部卓話 裁判員制度について

例会場：ブケ東海
(12:30点鐘)

例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152

事務担当者●川口恵美

Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第783例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

皆様こんばんは、先々週は、地区大会のコホストクラブと云うお役目で、会員の皆様には、朝の早い時間からお骨折りを頂きまして誠にありがとうございました。

さて、今月はロータリー財団月間です。先々週は財団委員長に卓話をしていただきました。財団の発足にかかわる歴史を交えたお話でした。

地区研修リーダー、渡辺脩助PGは3月のPETSで会長はなるべくロータリーのことを会長挨拶で話していただきたいと申されました。私も月に一度位は取り入れるつもりで努力しております。そこで私も今週は、ロータリー財団月間にちなんで、寄付金及び活動についてお話させていただきます

ロータリー財団寄付は、大きく分けると3つに分けられます。1つは恒久基金への寄付、2つ目は年次寄付、3つ目は使途指定寄付です。この中で一番重要なものが、私たちが行っている一人100ドルの年次寄付です。集めたこの資金は3年間資金運用されて、3年後に運用収益のみを財団運営費とか寄付増進費等に使われます。そして3年後に集められた資金の半分は国際財団活動資金へ、残りの半分は地区財団活動資金として計上されます。この資金は、お金が戻ってくるという事ではなく、その金額分のプログラムを選択できる権利があるということです。

次に恒久基金の寄付があります。これはベネ

ファクターとして寄付のお願いをされているものです。この寄付金は未来永劫、元金に手を付けられる事はありません。毎年プールされて資金運用されております。そして収益だけを同じように国際財団と地区財団に分けられて、奉仕活動に使われております。

使途指定寄付は、使い道をきめて寄付するもので、ポリオ・プラスまたはポリオ・プラス・パートナーなどがあります。ポリオ・プラス寄付はプールされてポリオ・プラス補助金の要請があるつど使われて、ポリオ・プラス・パートナーはワクチン以外の使途に対する寄付で、基金としてプールせずに直ちに使われる寄付です。活動については詳しい説明ができませんでしたが、もう少し情報を得たところで、お話させていただきます。

11月のプログラム

784回 12:30 会員卓話 プログラム委員会
11月22日(木)

785回 12:30 クラブフォーラム
11月29日(木) CLP検討委員会

12月のプログラム

786回 12:30 会員卓話 年次総会
12月06日(木)

787回 12:30 クラブ協議会 下期活動計画
12月13日(木) 理事会

788回 18:30 クリスマス家族例会
12月22日(土) 親睦委員会 曜日変更・夜間例会

裁量休会
12月27日(木)

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	佐野 稔

●ゲスト

1. 大川正博様：沼津RC（副会長）
2. カタリーナ ピルス様：沼津RC（交換留学生）
3. 梅田欣一様：沼津柿田川RC

★出席報告（会員総数26名）

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
783回	24名	18名	-	75.00%
781回	24名	20名	2名	91.67%

●欠席者(6名)

井上武雄、久松 但、森 茂美、本村文一、
西山幸三郎、鈴木良則

●スマイル報告

1. 大川正博様（沼津RC副会長）：本日は、交換学生のカタリナを引率してきました。どうぞ、よろしく、お願いします。
2. 鈴木泰次：誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 吉川直人：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①裾野ロータリークラブ

11月23日（金） 勤労感謝の日の為、祝日休会

②富士宮ロータリークラブ

12月03日（月）→1日（土）クリスマス家族会

③富士宮西ロータリークラブ

11月16日（金）→18日（日）香嵐溪へ親睦旅行
の為

11月23日（金） 祝日休会

2. 報告・連絡事項

- ①道部ガバナー、土屋地区大会実行委員長より、地区大会の御礼が届いております。
- ②12月13日のクラブ協議会の下期活動計画を、11月29日（木）までに、事務局宛に提出してください。

交換留学生の挨拶 カタリーナ ピルスさん



みなさん こんにちは。

私は、カタリーナ ピルスです。17歳です。アジアの文化を知る為に、オーストリアから、来ました。

オーストリアは、ドイツとハンガリーの間にある、小さな国です。首都は、ウィーンで、人口は200万人です。大統領は、アルフレート・グーゼンバウアーです。私の国までは、飛行機で11時間は、かかります。オーストリアに来たら、是非、ウィーンとザルツブルグに行ってください。すばらしく美しいアルプスや川や湖が見られます。

ファーストオリエンテーションは、とてもおもしろかったです。2620地区のexchange student（交換留学生）は、ふたりのアメリカ人と、ひとりのドイツ人と、ひとりのベルギー人で、富士山に登りました。

学校では、弓道クラブに、入りました。毎日トレーニングを楽しみにしています。友達は、とても、優しいです。私の誕生日も、おもしろかったです。

テストのあとで、同級生と一緒に鎌倉へ、行きました。円覚寺や、大仏をみました。

時が経つにつれて、私は、沼津の今沢に慣れました。電車とバスに、乗るのに慣れました。

Exchange Student（交換留学生）と一緒に、京都と奈良と広島の旅を楽しみにしています。
よろしく、お願いします。



裁判員裁判制度について 梅田弁護士

裁判員裁判制度は、遅くとも平成21年5月までに施行されることになっております。沼津の裁判所でも、裁判員裁判のための法廷棟も既に完成しております。

裁判員裁判制度が導入されたのは、裁判制度に国民主権を実質化すること、裁判に一般市民の良識を反映させること、他の先進国では一般市民が裁判に参加する制度が既に認められているなどの理由に基づきます。

裁判員裁判においては、3人の職業裁判官と、6人の一般市民から選ばれた裁判員が裁判を行うことになります。具体的には、有罪か無罪かなどの事実認定、懲役何年にするかといった量刑について、評議、評決することになります。評議の前に職業裁判官からの噛み砕いた説明があるので、法律を知らなくても裁判員として裁判に参加することができます。評決は、全員一致が得られない場合には、多数決によって決められることになります。

裁判員が選任されるためには、1つの事件でおよそ50人程度の人が、選挙権を有する人の中から裁判員候補者として呼ばれることになります。

裁判員になることを辞退することは、70歳以上の人であることなどの一定の場合でなければできません。

裁判員候補者として選ばれる確率は、285人から570人のうちから1人であると言われております

裁判員として裁判に参加した場合には、1日当たり1万円以下の旅費・日当が支払われます。

裁判員として選ばれた場合には、特別な理由がない限り、裁判員として裁判に参加することを拒むことはできません。ただ、自分自身が仕事を休んでしまうと、取り返しのつかない損害が生じてしまうような場合には、例外的に拒むことができますが、たんに「仕事が忙しい」といった理由では拒むことはできないのです。

会社の従業員が裁判員として裁判に参加するために仕事を休みたいと申し出た場合には、使用者としては、仕事を休むことを認めざるを得ません。

もし従業員が裁判員裁判に参加するために仕事を休んだことに対して、ペナルティーを課した場合には、刑事罰が科せられます。

会社の経営者としては、従業員が裁判員裁判に参加するための有給休暇制度を設けることまでは義務づけられませんが、休むことを認めなかったり、休んだことにペナルティを課した場合には、刑事罰がありますので、注意してください。

理事会報告

1. 協議事項

①クラブ細則改正の件

CLP検討委員長 渡辺 亀一君

- ・CLP検討委員会の原案どおりにて承認。
- ・11月29日の例会にて決議する。

編集後記

先週に続き今回も3時間悪戦苦闘しました。編集長のお力添えで何とか編集致しました。

次週はもう少し編集長の手を煩わせないように頑張りたいと思っております。

(佐野 稔)



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008年度

第17巻20号

2007年11月22日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●

心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■

会員卓話 地区大会の感想

例会場：ブケ東海
(12:30点鐘)

例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152

事務担当者●川口恵美

Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第784例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

こんにちは、先週の土曜・日曜日には技能五輪国際大会の、おもてなし会場運営スタッフ一員として会員の皆様、そしてご家族の皆様に大勢の参加をいただきありがとうございます御座いました。土曜日の参加にありましては、暇を持て余しておりましたが、日曜日は来場者が多く、運営 TENT をひとつ西クラブにあてがわれまして、朝から大変忙しい対応で御座いました。

昨日は、キラメッセぬまずの会場で4日間にわたって繰り広げられた競技の表彰式と、閉会式が行われました。日本選手の金メダルの獲得数が参加国のトップという輝かしい成績に、大きな拍手を送りたいと思います。

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会は、静岡市と沼津市で同時開催されました。第7回国際アビリンピックは静岡市で開催され、第39回技能五輪国際大会は沼津市で行われました。技能五輪国際大会は2年に1度、約50の国や地域から選ばれた22歳以下の青年技能者が「ものづくり」の分野で技を競い合い、世界一を決める競技大会です。

そして各国・地域の青年技能者が国際的に技能を競うことにより、参加国の職業訓練及び技能水準の向上を図ることを「目的」に開催します。国際アビリンピックは、参加資格が15歳以上の障害のある者、そして障害のある人の職業技能の

向上を図るとともに、障害者雇用に対する社会一般の理解を深め、また、国際親善を図ることを「目的」として技能競技を実施します。

沼津市では開催市として、市制施行以来の一大イベントで御座いまして、これを契機に地域産業の活性化を目指し、大会開催による事業効果をさらに高める事業を展開していると言われております。

また、この大会に出場が見込まれた選手の技術水準の向上を図る為に、選手育成強化事業を行う事業所または団体に対し、補助金も出しております。この補助金交付制度は昨年の8月に行政のトップの決裁によって行われた訳ですが、技能五輪国際大会の「目的」は職業訓練及び技術水準の向上としている訳ですから、大会の有無に関わらず技術者育成強化事業として、産業界の基礎的成長事業として行っていかなければならないと感じた次第です。

11月のプログラム

785回 12:30 クラブフォーラム
11月29日(木) CLP検討委員会

12月のプログラム

786回 12:30 会員卓話 年次総会
12月06日(木)

787回 12:30 クラブ協議会 下期活動計画
12月13日(木) 理事会

788回 18:30 クリスマス家族例会
12月22日(土) 親睦委員会 曜日変更・夜間例会
裁量休会

12月27日(木)

会 長	渡辺 亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島 賢次	編 集 者	佐野 稔

出席委員会報告

●ビジター

1. 石川秀雄様：沼津RC
2. 土屋忠男様：沼津北RC
3. 杉山裕将様：沼津北RC
4. 杉山栄一様：沼津北RC
5. 羽野久雄様：沼津北RC
6. 内田文喬様：沼津北RC

地区出席報告（会員総数26名）

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
783回	24名	19名	-	79.17%
781回	24名	21名	1名	91.67%

●欠席者(5名)

森 茂美、本村文一、西山幸三郎、杉山 了、鈴木良則、

●他クラブへの出席者

杉山 了（11/19 沼津柿田川RC）

●スマイル報告

1. 地区大会実行委員会（沼津北RC、杉山裕将様）
：先日の地区大会、ありがとうございました。
2. 内田文喬様（沼津北RC）：いつも、お世話になります。
3. 石川秀雄様（沼津RC）：井上さんには、いつもお世話になっております。又、過日の4RCゴルフコンペの際には、土佐さん、栗原さんには、大変お世話になりました、ありがとうございました。
4. 井上武雄：魚市場食堂開店します。よろしく、お願いします。
5. 佐野 稔：所用につき、早退させていただきます。
6. 久松 但：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 報告・連絡事項

- ①土屋地区大会実行委員長より、「地区大会実行委員会事務局」の閉局のお知らせが届いております。
- ②12月22日（土）開催のクリスマス例会の、青表紙を各テーブルに置きますので、ご記入下さい。
- ③次週例会にてクラブ細則改正の決議を致します

ので、予め郵送した細則案に目を通しておいて下さい。

- ④クラブ協議会の下期活動計画を、11月29日（木）までに、事務局宛に提出してください。

卓 話

地区大会の感想

植松 正 君



11月3日、4日と2日間 にわたり参加しました地区大会の感想を述べさせていただきます。今回は幹事という立場でありましたし、単に参加するというだけでなく、コ・ホストクラブとして会員の皆様をもてなすことを求められています。そのため今までとは意識も時間的な制約も含め過去参加した2回とは全く違ったものでありました。

感想を申し上げますと、大きく2点ありました。1つ目は地区大会を運営に携わることでロータリアンの意識の高さを痛感したこと。2つ目は開場RI会長代理の挨拶に強い感銘を受けたことです。

1つ目の地区大会の運営ですが、当クラブも今年2月にIMのホストクラブを務めておりますが、地区大会となると1,400人を越す参加規模で、その苦労は想像するに難くないと思います。正直なところ沼津北クラブを中心とする大会準備は決してスムーズなものとは言えず、不安な点が多々ありました。それでもいざ大会が始まれば、コ・ホストクラブである沼津クラブ、柿田川クラブ、そしてわが西クラブも皆一致協力し、2日間無事大会を終えることができ、ロータリアンの意識の高さを痛感しました。

2つ目の開場RI会長代理の挨拶ですが、特に大会初日に話されたご自身の所属する弘前ロータリークラブでの出会いについて、非常に印象に残りました。簡単にご紹介しますと、2名のすばらしいロータリアンとの出会いが自身のその後の人生に大きく影響を及ぼしたとの内容でした。

お1人は、入会后連続欠席していた自分を3週連続で勤務先の病院に迎えに来てくれた開業医の会員で、その後に開場氏をカバナーに推薦された方。もう1人は同氏がガバナーの時の地区幹事を務めた12歳年上の僧侶の方。いずれの方も既にお亡くなりになっていらっしゃるということでしたが、生涯の親友であったとのことでした。お話のなかで「（ロータリーは）1人のロータリアンにより変わることができ

、例会の楽しさは自分で作り、意義は自らが見出し
ていくもの。」という言葉が印象的で、共感を覚え
ました。

私もこのクラブに入会し、いろいろな素敵な方々
と出会うことができました。もっともっとロータリ
ーを楽しめるもの、そして有意義なものとするために
も、出会いを大切にしていきたいと感じました。

西島邦彦君

今年度入会させていただき、初
めて出席する地区大会が地元沼津
の開催で、裏方作業を通じて大会
の規模の大きさにまず驚きました
。

普段はクラブの皆様
としか接しておりませんので全国
に98,000人もロータリアンがいることすら意識し
ていませんでしたが第2620地区の1,500名になん
んとする会員が一同に集うところを見て改めて国際
ロータリーの大きな輪の中に自分も参加させていた
だいているという実感が沸々とわいてきました。
私は昼食手配の担当だったため、本会議は道部ガバ
ナーの点鐘から挨拶までの40分ほどしか会場に居れ
ませんでした。閉場R I 会長代理のお話を聞けな
かったのが非常に残念でしたが、プログラムの中に有
った「ロータリーは分かち合うのです。一世界をより
良くしようというロータリーの夢を皆で分かち合い
ましょう。ロータリーは分かち合うのです。一自ら
の能力と技能とそして持てるものを皆で分かち合い
ましょう。ロータリーは分かち合うのです。一ロー
タリーの夢の実現は私たちの不断の活動の結果もた
らされるものですから、そのために私たちのベスト
を尽くしましょう。」というウィルキンソン会長の
言葉は心に残りました。

話は少し横道にそれますが、数年前に会社の研修
でJ&Jの'我が信条'について話を聞いたことがあ
ります。このなかの「我々の第三の責任は、我々が
生活し、働いている地域社会、更には全世界の共同
社会に対するものである。我々は良き市民として、
有益な社会事業および福祉に貢献し、適切な租税を
負担しなければならない。我々は社会の発展、健康
の増進、教育の改善に寄与する活動に参画しなけれ
ばならない。我々が使用する施設を常に良好な状態
に保ち、環境と資源の保護に努めなければならない
。」という一節はまさにロータリーの精神なのだと
気付きました。

今回の地区大会は本当に中途半端な形での参加で

皆様には大変ご迷惑お掛けしました。次回は是非と
もしっかりとした形で参加するようにいたします。

吉川直人君

地区大会は私にとって驚きの連
続でした。

まず、参加人数の多さです。あ
んなに多くの方々が一同に、また
殆ど遅刻者も無く集まるという事
は、ひとえにロータリーメンバー
の意識の高さだと感じました。

次に、ロータリーの国際交流による海外からの留学
生等々の人数の多さです。それらの方々が親日家
になって帰国して頂けたら、とても素敵な事だと思
いました。

次に、非常にきめ細かな企画運営であった事です
。あれだけの人数を同じ行動や移動してもらう為
には、きめの細かい心遣いが無ければ到底、不可能
な事と思います。いろいろな職業の方々による集大成
なのかもしれません。

観光のサポートと時間的な余裕を考えたら良いの
ではないでしょうか。

戸田から原までの海からの眺めや、歴史的史跡、海
の幸など、楽しんで頂く時間が有れば地域経済効果
や、ロータリーの存在を認知して頂く上でも有効で
あったのではないのでしょうか。

最後になりますが、沼津西クラブは昼食等の時も
まとまりが良く、大変気持ち良く感じました。西ク
ラブに在籍させて頂いている事を嬉しく思いました



編集後記

技能五輪国際大会に小生も18日ボランティアと
して門池会場に参加させていただきました。
残念に思ったことが1つあります。それはロータ
リークラブの参加が沼津西RC以外なかったこと
です。

沼津市は市制施行以来の一大イベントとして、こ
れを契機に地域産業の活性化を目指し、大会開催
による事業効果をさらに高める事を目指しており
ました。

社会奉仕、職業奉仕を活動の柱とするロータリ
ーにとっては格好のチャンスではなかったのでは
ないでしょうか。

(佐野 稔)



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008年度

第17巻21号

2007年11月29日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●

心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■

C L P 検討委員会、会員卓話

例会場：ブケ東海
(12:30点鐘)

例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152

事務担当者●川口恵美

Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第785例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

このところ世界の景気動向が、アメリカの住宅バブル崩壊に端を発し、金融及び株式市場の動揺が収まらない状況が続いております。私も7月の会長挨拶で景気拡大の話と、8月には円キャリーによる円安にかかわるお話をしましたが、今は一変して逆の展開をしております。15年前のバブル崩壊でその反動がようやく薄らいできた中で、金融市場の混乱がまた足を引っ張るようで、憂慮される業界も多かろうかと思えます。

サブプライム問題に、原油高とドル安も加わって、アメリカでは来年前半ころまで景気減速が続くそうと云われております。しかし新興国市場の中国やインドのIT部門などが堅調で、その潜在成長力の期待から世界の投資マネーが相場を下支えするであろうと云われております。したがって、アメリカは景気後退に陥ることは無いであろうとする戦略家もおります。

また世界的に穀物の需要が拡大している中で、穀物を確保する為にEU（欧州連合）は来年6月まで小麦やとうもろこしなど、すべての穀物の輸入関税を一律に0にすると発表しております。バイオ燃料等で世界的に穀物の需要が拡大している中で、いち早く輸入量を増やす狙いがあると見られております。

以前にも食料自給率のお話をしましたが、ますます食料問題がクローズアップされています。世

界の主な先進国の自給率、特に農業大国のアメリカでは128%、オーストラリアでは225%、カナダでは145%、フランスでは122%と、過去40年間一貫して100%を超えております。そして、回復傾向にあるイギリスでは70%、ドイツでは84%と高い自給率を確保しています。日本の40%が如何に低いかが憂慮される訳で御座います。

1973年、アメリカは大豆の輸出を禁止したことがあります。大豆が暴騰し、関連する食料品が値上がりし、日本経済にも大きく影響したことがあります。当時の自給率は55%ありました。さらに低い現在では、為替に、また石油と不安材料が加算されて、先行きに暗い影を落しております。官僚の不祥事な話ばかりでなく、このような諸問題に少しでも期待できるような政策を望んでいる訳で御座います。

12月のプログラム

786回	12:30	会員卓話	年次総会
12月06日(木)			
787回	12:30	クラブ協議会	下期活動計画
12月13日(木)			
		理事会	
788回	18:30	クリスマス家族例会	
12月22日(土)			
		親睦委員会	曜日変更・夜間例会
		裁量休会	
12月27日(木)			

●ビジター

1. 白鳥 篤様：沼津北RC
2. 小木曾誠様：沼津北RC
3. 太田昭二様：沼津柿田川RC

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	佐野 稔

地区出席報告（会員総数26名）

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
785回	24名	21名	-	87.50%
783回	24名	18名	1名	79.17%

●欠席者(3名)

井上武雄、森 茂美、土佐通孝、

●スマイル報告

1. 本村文一：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 西山幸三郎：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
3. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。
4. 本村文一：しばらくお休みが多く、すみませんでした。
5. 芹澤和子：所用につき、早退させていただきます。
6. 西島邦彦：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 報告・連絡事項

- ①12月22日（土）開催のクリスマス例会の青表紙を各テーブルに置きますので、ご記入下さい。
- ②クラブ協議会の下期活動計画を、本日中に、事務局宛に提出してください。

卓 話

クラブ細則改正決議～CLP検討委員会

植松 正 君



本日の例会にて、クラブ細則第14条に基づき、クラブ細則を改正する件について協議致しました。採決の結果、出席者19名の全会一致で可決されたため、平成19年12月1日より新細則となります。

これにより当クラブにおいても、次年度からはCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）を前提とした5つの常任委員会の組織となることが決定されました。皆様のご協力ありがとうございます。

税務署との付き合い方

久松 但君



先月の職業奉仕月間の際、社是・社訓・座右の銘を募集し、そのいくつかをご紹介しました。今回、プログラム委員長より、卓話の依頼があり、社是・社訓・座右の銘などから会社の紹介等をと、お願いされましたが、話すことも少ないので、勝手に「税務署との付き合い方」という題名で話をしたいと思います。

現在、国税局は国内12あり、この内、沼津は、名古屋国税局管内ということになります。名古屋国税局管内は、東海4県が対象となりますが、この内、静岡県には13の税務署があります。

沼津税務署は、沼津市・裾野市・御殿場市・駿東郡（清水町・長泉町・小山町）が担当地域です。また、沼津税務署は、東部地域の中核税務署です。部門の数も多く、法人税部門7、所得税部門5、資産税部門2、管理徴収部門3、酒税部門1あります。法人の税務調査は、おおよそ、法人全体の5%程度が対象となり、場合によっては、無通知で調査が行われることもあります。無通知といっても、任意の調査ですから、日程を変えてもらうことは可能です。

税務調査は、おおよそ決算後6か月後に行われることが多いのですが、中には何年も調査がないというようなケースも多々あります。

編集後記

5回目の編集となりましたが、今回は何とか自力で編集できました。来月からは火曜の編集日に他のスケジュールを組み込むことが出来、ひと安心しております。

宮島さん、名古屋さんご指導有難うございました。6ヶ月後の編集にご迷惑を賭けないようマニュアルをつくっておきました。（佐野 稔）